北斎一筆画譜
151
IPPITSU GWAFU.
HOKUSAI
#234 (3)
N.D.

鶴乃毛衣千とせ亀はよろつの世をさゝへよする坂
一筆にうきふ勢しきこの末尾の形を写人
福善斎 彰文の筆乃綿なるをときめかし
載年翁府下に遊ひし時見めてかゝる趣の
ふりを集八口をしきかきあまは其鶴亀
乃長き世あり 侍んとてらいしとの
すゝめを子ふし 又二三葉を書そへて
貴窺をしえ見れ行けよりは人のまゝめわき

戯まゆさ山川あるとふにかかるゆくとも言乃経
橋うきりきて道一まで絶とは思せるなりさるに深く
人の写すがまにはうするものをとて一かふの形を画
うき唐人の筆落したるを猶ふかきふせ
にも似よと思ひはなれて小形顔ともふけるとく
いふめあまたを紙の中の遠ちかふかうたりもく
ゆきのんもしハ郭瓶乃よものりかくてはう
まじりまそん

癸未乃春

屋府下申林子識

群霍戴斗校合

八
いろひけの
戴斗嗣筆
同挟合
四

一点一形

高砂
人麿
邪祟
井出の玉川

雨乞（あまこひ）

出山佛（しゆつさんぶつ）

八ツ橋（やつはし）

狐拳（きつけん）

拳酒（けんざけ）

棒組

道中

両親
無心
分別
屁

藝者
悤

髻
帖
針妙
身仕舞
虚寝
飼鳥
手飼

士
農
工
商
早乙女

奇合
傍乳
髪形
朝寝

洗濯
手水
蚊帳
夕立

婚媾
産神参

木挽
合傘
盗賊
虎が石

盲
丸木橋
授戒

竹馬

化物

曲鞠

股潜

脛押

枕引

佛
神
儒
養生
供侍奴

樂書
淀川

角力
腕押
大力

浄瑠理
三弦
幕引
後見
口上

盆踊

綱渡
逆立
輪抜
枕の曲

鳥差
神楽獅子
鑓持

孝
小人国
礱磑
すりうす

郭公
鷹
鴛鴦
近江の八景

群鷺（ぐんろ）

旅鴈（りよがん）

鼡（ねずみ）

猫（ねこ）

野飼牛（のがひうし）

千鳥（ちどり）

翡翠（かはせみ）

鷗（かもめ）

栗鼠（りす）

犬の子（いぬのこ）

兎（うさぎ）

湖水（こすい）

遠景（ゑんけい）

雪中山水（せつちう さんすい）

海濱の旭

尾張東壁堂藏板目録

名古屋本町通七丁目
永樂屋東四郎